

私のダムにかんして一番思うのは下流の安全のためには上流が犠牲となって、家屋移転などを強いられることだと思う。

しかし川辺川ダムの場合、水没地域の家屋移転はほとんど完了しているのだ。

あとは実際にダムを造る途中で

今更ら中止にしたら、これまでの投資が無駄になるのではないか？

大きな災害は来ないとしても、20年の6月の雨の時の球磨川のように見る時に大きな洪水が来るのではないかと考えた。

川辺川ダム事業に関する意見書

ダムの最大の問題点は、下流の安全のために、上流が犠牲となって、家屋移転などを強いられること。しかし、川辺川ダムの場合、水没地域の家屋移転は殆ど完了しているのだから、跡は実際にダムを造るだけ。今更中止したら、これまでの投資がムダになるのではないか。

川辺川ダム事業に関する意見書

計画よりも大きな洪水が流れたこともあるが、流れたことが有るからいつまでも安全という考え方は危険ではないか。洪水が起きないようにするには、何らかの治水対策が必要なには多くの人の共通認識。体積土砂を掘削するのは、元々の状態よりも流れにくくなった分を元に戻すだけのことで、元の状態より安全になるわけではない。抜本的対策としては、ダムは必要だと思う。

私は五木村に生まれ、就職の為五木村を離れて
現在は湯前町に住んでおります。

昭和28.29年の大水害の時 川辺川がはんらんして
大きな被害をもたらし 尊い命が奪われた大災害を
今でもはっきり記憶しております。

梅雨時、又台風の時大雨が降るたびに、こわい思いが
します。

私のおばは違々下流域住民の方々と災害から守る為
やむを得ない選択で一番思い出のある土地を耐え難い
心境で相良村を離れたとも聞いております。

清流を守り 自然を守る 大切な事と思っております。

でも水没者の方々の犠牲と耐え難い心境で離村した
人達の心境も大切にしたいと思っております。
犠牲と無駄に於る事なく

ダム建設工事を進めていたにたいと思っております。

ダムが建設される事により 人音球磨の観光振興及び
地元建設業の潤い 活カある人音球磨になるのではと
思っております。

川辺ダム事業に関する意見書

私は、球磨郡多良木町に生まれ、今現在も多良木に住んでおります。

川辺川ダム事業は、私が生まれたときは、計画段階か若しくは実施されていたかは分かりません。私が40代ですが、その年月経て最後の段階の本体着工目の前になって何故に是非の議論と思います。

川辺川ダム事業が、今現在この様に全国的に話題になる取り上げられるのはここ近年のことで、一つのダム事業を完成させる事に要する年月は必要とされ計画から実施され完成まで何十年がかりの事業であり、いまさら何故に議論とは、考えられません。

私の友人、知人にも五木で生まれ住んで先祖代々の土地建物手放し泣く泣く離村された方が何人いらっしゃいます。その事思えば私たちでは考えきれない苦難の選択にて決断されたと思うところです。その人たちの思いを無駄にするのであれば耐えがたい心境です。

ダム事業は、第1に生命財産を守るために計画されたのが趣旨であり、これに反対される方は、人の命よりも環境若しくは動物、植物の方が大切と言っているとしか思えません。ほんとうに情けありません。

自然災害とは、誰にも予測もできないし、止めることもできませんから万事に備える事が大事なことだと考えます。昔から台風、洪水等の災害にて多くの方が御亡くなられています。その時代にその結果があったから国、県、町村の公共事業にて安全・安心の環境整備が進められてきましたのです。この川辺川ダム事業もその大きな役割の一つだと考えます。私の住んでる上流には、市房ダムがありますが、ここ近年でも洪水調節により人吉市が水に浸からなかったと思われる事例が何度とあり私自信も目にしております。

この事業が必要性が有るとの事に反対される事が本当に疑問に思われて残念です。

是非、推進してもらふ事を常に願います。その事により球磨人吉の全ての産業の振興につながるものです。私達の生まれ育ったこの地にて私達の子供達にも安全に安心に一生住める地域となる事を切に願います。

「川辺川ダムに関する意見書」

ダム建設を行うことによって洪水調整をしないと球磨川下流の市町村地域は洪水災害で家、財産を失うこととなり、人々の生命にも危険を及ぼす恐れがあると思います。

森林の成長を考慮すると、小さい計画流量でも安全が確保されるかもしれませんが、洪水が予報されるたびに非難勧告がだされ人々を不安にさせるくらいなら長期的視野のもとで安全安心を確保するために早期着工と人々への信頼を掴み取っていくことを最優先し、ダム建設を行ってほしいと思っています。

特に、人吉・球磨地域は球磨川下りなど有名な観光地でもあるため、その地域を洪水災害等でだいなしにしてほしくないのです。

ダムを建設すれば洪水災害は完全に防げるのかと考えると「絶対大丈夫」という言葉は出ませんが、市房ダムが良い例だと思います。

市房ダムは建設完成後、洪水調整効果により下流の洪水位を下げ、ダム下流の町村地域では大きな災害が発生していないのが明らかであります。

人吉・球磨地域の活性化、人々の生活の安全安心を確保するためにも川辺川ダム建設に私は賛成します。

川辺川ダムに関する意見

現在全国各地に建設されたダムは2,000箇所以上に上るそうですが、水が豊富に見えてそうではない現実であるようです。

近年の地球温暖化の影響により、全世界的に毎年のように集中豪雨と旱魃が局地的に襲っており、

「21世紀は水戦争の時代」とまで言われています。日本においても近年、全国各地で水害が発生、流域住民の生命・財産を脅かしています。

一方ある年では、全国的な大渇水は各地で給水制限を引き起こし、特に大河川を持っているにもかかわらず

慢性的に降雨量の不安定な地方で渇水が深刻となりました。

渇水により大きな規模で経済損失が発生し、通常水不足の起こりにくい冬季においても取水制限が行われていたようです。

このような不安定な現状の中、河川整備・水資源の確保はより一層重要となり、ダム事業はとりわけ重要であると思います。

また、豪雨により浸水被害が大きく異なった事例もあり、治水・利水の観点では現在においてもダムに重要性があると思います。

一方、地球温暖化防止の観点から二酸化炭素排出抑制のために化石燃料からの脱却が叫ばれている中、

水力発電の再評価も行われている。欧米と異なり原子力発電に対するアレルギーが強い日本において新規の原発建設が困難性を増している中、風力発電・太陽光発電・地熱発電等代替エネルギーの大規模実用化が困難と言われている以上、ダムによる水力発電の期待は大きいと思います。

水力発電は地域の数千世帯分の電力を賄うことが可能で、クリーンかつ経済性に優れた発電法でもある。

揚水発電は夏季の急激な電力消費に即応可能であり、また原子力発電所による電気の供給が地震等の災害で運転休止になる電力危機に対し、大口消費先への節電と共に水力発電の緊急運転によって大停電という最悪の事態を回避できると思います。

またコストパフォーマンスにおいては低効率な火力発電に相当する発電方法とも言われ、こうしたことから治水・利水・エネルギーを総合的に確保できるのではないのでしょうか。

環境面からは、環境破壊もあるとして批判される面もありますが、反面農業用水の取水や天候により特に河川の流況が不安定な夏季において、ダムからの河川維持放流が存在することで常に安定した河川維持流量が確保でき、干ばつによる生物の枯渇を防ぐのに役立ちます。

最後に、局地的な集中豪雨等により水が凶器となり、人命や財産を奪う今、またこれからの石油等エネルギー資源が減少していく中で、ダムは必要であると思います。

「川辺川ダム事業所に関する意見」について

私は、ダムは必要であると思います。賛成の理由としてこのところ地球の温暖化になってきています。雨の降る量も短時間に大量の雨が降るようになってきています。

先日のテレビの報道でしたか、神戸の河川の急激な増水のため、子供と大人数名が亡くなりました。数十分で1.0m以上、川の増水だったみたいですし、地元住民もこんなことははじめてとおっしゃておられました。

川辺川は、九州山脈の広域の雨水が流れ込みますので神戸の状況またはそれ以上の災害が起こりうる可能性が高いと考えます。何かあってから「対応をしとけばよかった」では遅いのではないのでしょうか？何十年に一回のペースではなく、頻繁に起こりうる可能性が高いように思います。

利水の方も、現在後継者がいない為、水はいらないと言う意見があるようですが、石油の高騰により、いろんな物が値上がりしてきています。建設業関係の仕事も減少してきてます雇用の場所が無くなれば、「百姓でもせな飯は食えん」食べる物は自分でと考える方が、増えてこられるのではないのでしょうか。水は生活になくてはならないものだと考えます。

観光の方面から考えても、現在したる観光の目玉もないように思います。

全国で話題になったダムが出来ることにより、外から人がきます。そして金が落ち村が潤うと思います。潤えばさらに観光開発が出来ると思います。

しかし、一番に考えなければいけないことは、ダムができることを信じて住み慣れた土地田畑を未練を残しながら手放した方々の心情を察すれば、今になって「ダム建設反対」といえるのでしょうか？

環境破壊云々で「ダム建設反対」と簡単には言えないと考えます。

利水・治水両面からもダムは造るべきだと思います。

川辺川ダム事業について、

自分は、ダムが出来る事に賛成です。

それは何故かと言うと、治水、利水、に使えるうえ天草などの水不足地域を抱えている熊本にとっては、将来性を考えると必要だと思いました。

現在八代市の氷川ダムから天草方面へ水を供給しているのが、干ばつ時には取水制限が行われ、時には八代地域でも断水なども行われていたからです。

いつ天草地域に干ばつが起こるのか判らない事をふまえ緊急時の利水を想定した方が天草、八代、芦北地域まで網羅出来る体制を造って欲しいと思います。

近年では毎年球磨川氾濫のニュースを拝見するようになり、早くダムが出来る事により球磨川中流の坂本地区も幾分良くなると思えます。

突発的な自然災害や人的災害に緊急対応できるように、水の貯水をしていた方が良いと思う。

建設業が恩知を得るとか言われているけれど、災害が起こって死傷者が出てからでは遅いと思う。

今の建設技術で自然に優しいダム造りも出来るのではないかと思います。

五木住民は居住区を変え、故郷の景色を変えてでも、ダムを造るために協力しているから将来の八代と天草の事を考えると必要だと思えます。

ダム造りをして五木地域周辺の整備を行い、レクリエーション広場、キャンプ場、釣り場、観光施設（吊り橋）、ダムの見学場、などを造ることにより涼を求め市内や県外などからの観光、川辺川ダム観光にての求人を生み、集客力を高め、観光産業に力を入れ、五木地域の魅力を出し球磨地域の川辺川ダム、市房ダムなど観光地造りをしていけば、デメリットよりメリットの方が大きくなるので付近地域や住民、県民、の前向きな意見が聞けるようになると思えます。

観光に力を入れ観光収入を増やし県財政の負担を減らすよう付近地域、緊急時の利水利用市町村などと協力し負担軽減するよう心がければ熊本県民の協力を得られると思えます。

川辺川ダム文書・意見書を終わらせていただきます。

・川辺川ダムに関する意見について

・私は、川辺川ダム建設に賛成の立場にいます。

賛成理由は一般的な考えであります。球磨川・川辺川下流域に住んでいる我々にとって、梅雨時期や台風発生時期は毎年のように洪水の脅威にさらされ、このまま川辺川ダム建設の先行き不透明が続くなら、来年よりも再来年は近年よりさらに甚大な被害が発生するのでは、と不安を強いられます。

清流川辺川や球磨川観光に多大な影響を及ぼす事は十分考えられると思いますが、それよりも生命、財産を確実に守り、安心して暮らせる地域をつくる方法を見出して頂きたいと願います。

熊本県知事

蒲島郁夫 様

川辺川ダム事業問題に関する意見書

私は八代市在住です。

私は川辺川ダムは必要だと思えます。ダムを作らなければ河川を改修しなければいけないのではないのでしょうか。山林の保水力をあてにしているようですが、現在の異常気象等ではあまり見込めないのではないのでしょうか。河川の改修を行う場合の方が環境等に問題を起こすのではないのでしょうか。

ダムの残工事と河川改修の工事費を比べた場合、ダムの残工事費が安くすむのではないのでしょうか。また、工事期間も河川改修よりダムの方が短期間で出来るのではないのでしょうか。私たち地元住民は、現在の異常気象等で不安です。1日でも早く洪水の不安を取り除いて下さい。

ダム反対派の人は、地元ではない人がいろんな事を言っていますが、川辺川ダム問題は、与党と野党を政権争いになっているのではないのでしょうか？この問題は、熊本県・球磨川流域の問題であって外部の人の問題ではないのではないのでしょうか。

とにかく、私たち地元住民は、洪水等で私たちの生命・財産等がなくなるのが心配です。県としては、県民の生命・財産を守る義務があるのではないのでしょうか。今後、私たちの財産である子供たちが安心して暮らせる熊本にしてください。

川辺川ダムについて、

私が住んでいる所は、川辺川支流に位置する場所、泉町樫木です。
川辺川ダムの意見について意見を書きたいと思います。

一つは、実際、下流での問題ですので関係ないように思いますが、ここ最近の気象状況からすると集中豪雨が多発しており、河川の増水、土砂災害等の発生がいつ起きてもおかしくない状態だと思います。

泉町でもし、災害が発生した場合、上流の砂防ダムで対応出来ない場合どうしても、下流に土砂が流出します。それを今、下流で対応できるダムがあるのでしょうか？

泉町、五木村付近の河川の状況も、今現在あまり良いとは言えないと思います。こういう状況のなかでもし、大水害が起きたらと考えるだけでゾッとします。

こういう災害は実際、自分の身に降りかかってからしか誰も考えないと思います。最近は大スコミが騒いで話がややこしくなる傾向がありますが、川辺川ダムの必要性はあると思います。

川辺川ダムについて

川辺川ダムは完成させることは、下流域の洪水に対する安全確保の面からも重要な課題であるので、早期の完成を望むものであります。

川辺川ダムに関する意見

わたしは、知事に川辺川ダムの早期着工をお願いしたく応募をしました。

ダム反対派の、ダムによらない治水対策、にある人吉市の河床掘削案、堤防の嵩上げ対策案、河川の拡幅案、はどうてい地元住民が考え出したものではなくましてや、机上論若しくは妄想に近いものと考えます。

知事には、多忙な中に人吉、球磨一円を視察して頂きました。人吉市内の球磨川河川内で先ほどの治水案が実施可能かどうか、お分かりいただけただけかと存じます。また、緑のダムについても同様に机上論の域を脱しません。

わたしは、ダムの討論会へも何度となく参加してまいりましたが、不毛の議論だったと痛感しています。当時の知事は中立と言いつつ、賛成派、反対派の対立を深刻化させて、ついには自分の責務による建設か否かの決断をしないまま一人だけ舞台からおりてしまいました。

樺島知事は、出馬のときから9月には自分の責任で結論を出されると明言されました、その姿勢には敬意を表します。

わたしがダムの早期着工を願うのは、近年の以上豪雨による鉄砲水や洪水が昔と違うように感じているからです。

時間降雨量が百ミリを越えたり、親水公園になっていた河川で鉄砲水が発生したり、想定外の事が全国、いいえ世界でも頻繁に起きています。

未曾有級の災害をふせぐためにも、知事の英断に期待致します。

私は、花博瀬野町内に住居を構え、球磨川沿いに住む者である。

昭和39、40年の球磨川大水害を経験して(岸上水深1m強)一吓である。その当時の記憶は、今は鮮明に甦っている。氾濫した川のカラ、恐怖を感じるところで、全く金持物(家具、家具等)一命を忘れる)を悪くする等とばかりである。

昨年(平成19年)今年(平成20年)と連続して、当該内は、球磨川の氾濫危険の急増を報告を繰り返した。私は、洪水は、毎年行われる(毎年春先)ものである。せんが、現状の地球の温暖化(世界各地で起きている)を考慮すると、その危険性を高まり、アゲルに思われる。

流域行政の財力と生命を脅かすという意味でも、私は、川辺川谷間の早急着手を希望するものである。

個人建設に賛成します。

地球温暖化により、今後ますます洪水が増え
よと思います。

このまま何の対策もしないで大丈夫かなと思います。

本筋に個人は必要だと思います。

ダム建設に賛成します。

昔、市内に住んでいて、洪水に合って大変な
(紺屋町)

思いをしました。子供しながら親が大変

な思いしている姿を見ました。

川辺川を推進する私の考え。

川辺川上流域は急峻な地形であり、降水量も多く梅雨や台風による集中豪雨時には、大規模な洪水が一気に人吉、球ヶ谷盆地に流れていく特性を有しております。

市房ダムも40年、46年の大雨の時ダム操作が洪水を助長し市房ダムがなかつたら人吉市等においては、さらに甚大な被害が発生したことが予想されます。市房ダムの水位低減の効果も、堤防の決壊等の大きな被害は発生しませんでした。

川辺川ダムを作ってください。

。最近 雨量が一時的にふえ、川の水位がきゅうげきにふえたりして 中流部 下流部での避難勧告が出たりしている状況ですので 何かの対策を取ってほしい。浸水被害を受けたときの損害は、今まで以上に大きくなっていくと思うので ためにより、洪水を小さくしてほしい。